

かつて樹木は、藤布や葛布などとして私たちの衣になっていました。樹木は、私たちが生きていくためにテーブルや家具などに形を変えて役に立っています。樹木は、生きていけば大地を守り、森の水のダムになり、土壌と落ち葉は水を浄化して、根は大地を支えます。街なかでは一つの景色を創り上げ、季節を感じさせてくれます。私たちは樹木から恩恵を受けているという意味で、ぜひ「樹恩」という思いを持って欲しいです。

しかし樹木は切らざるを得ない時もあります。倒木の危険のような、人に対して危害になるような樹木は除去しなければならないため、街なかでは100年あるいはもっと先まで健全に育つ場所はほとんどありません。消耗品と言えれば行き過ぎた言葉になりますが、いずれ切らなければならないからこそ、なるべく長い月日、美しい形で皆さんに愛されるような素材となる樹木を、建設コンサルタントの人たちには選んで欲しいと思います。そして切る時には、恩に報いる気持ちで礼を尽くして頂きたいのです。

また、私たちが生きていく中で樹木とどう付き合えばい

いのかを考えると、ぜひ1本、自分の木を作って欲しいと思います。いわゆる「マイツリー」を持ってくださいと皆さんに言っています。

以前、NHKの『課外授業 ようこそ先輩』に出演した際、母校の小学校6年生の子どもたちに「木を教える授業」を行いました。「自分の木を決めてください。そして、その木と話をしよう」という宿題を出しました。そして1カ月の収録の間に「毎日、木とどんな話をしたか」という日記を付けてもらいました。

1週間目は「木とは話ができない」。2週間目も「木に『もうすぐ寒くなる。風邪をひくな』とか『おはよう』と言っても、返事はない。木とは話ができない」と、全員が書いていました。3週間目になると「今日、運動会で2位になった。僕の木が応援してくれたから、木に『ありがとう』と言った」みたいな日記になりました。最後の4週間目になると「私の悩みを聞いてもらいました。私は心が軽くなり楽になりました」と書く子どもたちが何人も出てきました。「僕はもうすぐ卒業するけど、彼女ができたなら紹介しに連れてくる

から待ってね」という子もいました。子どもたちが色々なことを書いてくれたことをみると、心の中の会話が成立したようです。マイツリーを持つことは子どもたちにも必要ですね。

植物にはそんな力があります。確かに会話はできませんが、木は黙って全てを受け入れてくれますから。でも子どもたちが「私の悩みを聞いてくれた」「僕の嫌なことを聞いてもらって心が軽くなった」「気持ちが温かくなった」というようなことを書いてくれるとは思ってもみませんでした。この子たちが大人になっていく時に、この時のことをふっと思い出してくれたらいいと思います。

実はもっと嬉しかったことがありました。後日、担任の先生から「物を言わない女の子がしゃべってくれるようになりました。乱暴だった男の子が穏やかに学校生活を楽しむようになりました。木の授業がこんなに子どもたちの心を変えるとは思ってもみませんでした」というお手紙が届いたことです。その男の子は、他の子がサクラやマツ、ケヤキなどの大きな木を選んだのに小さなキンカンを選び

ました。「あなたはどうしてこのキンカンを選んだの」と聞くと、「おばあちゃんの家があって、花が咲くといい匂いがした。僕が風邪を引いた冬には、これを甘く煮て食べさせてくれた」と言いました。きっとおばあちゃんに愛されていて、おばあちゃんのことが大好きだったのでしょう。だから、おばあちゃんを思い出して、穏やかになってくれたのかもしれません。

マイツリーを作ると、四季の移ろいに敏感になったり、ちょっとした楽しみや発見ができたりします。ぜひ皆さんには街路樹でも、通勤途中のバスや電車で見かける木でもいいので、自分の木を選んで欲しいです。「花が咲いたな」「花が終わったな」「葉っぱが出てきたな」「セミが鳴いているな」など、会話をしなくてもその木によって心が穏やかになれたり、季節を感じたりできる、そういう素材です。人には言えないことを木に話かける、マイツリーはそんな存在であって欲しいと思います。

国分寺市立第四小学校 (写真:塚本敏行)

特集

まちと樹の共生

MESSAGE

樹恩とマイツリー



塚本こなみ
TSUKAMOTO Konami

プロフィール

静岡県磐田市生まれ。環境緑化コンサルタント。22歳で日本造園を得意とする造園家と結婚。夫の仕事を手伝ううちに、樹木の世界に足を踏み入れ、自身も一級造園施工管理技士を取得。1985年に緑化工事を行なう(株)グリーンメンテナンスを設立。1992年に女性として初めての樹木医資格取得。1993年に造園、緑化、樹木の保護などを事業とする自身の会社を設立。1996年に「あしかがフラワーパーク」の大藤移植を成功させ、園内の造園設計も担当。2000年同パーク園長に就任。2013年から「はままつフラワーパーク」を運営する公益財団法人浜松市花みどり振興財団理事長に就任。公益財団法人静岡県観光協合理事。浜松市文化財保護審議会委員。TVへの出演も多い。著書に「塚本こなみ 花みどりの心 ~樹恩の日々~」「おおふじっこし大作戦」等。